

【公開文書】

臨床研究「腫瘍径 4cm 未満の肝細胞がん陽子線治療の治療成績」について

国立がん研究センター東病院 放射線治療科では、標題の臨床研究を実施しております。

本研究の概要は以下のとおりです。

① 研究の目的

保険適応外になっている腫瘍径 4cm 未満の肝細胞がん陽子線治療後の治療成績を評価します。

② 研究対象者

2020 年 12 月までに陽子線治療を行った腫瘍径 4cm 未満の肝細胞がんの患者さんを対象とします。

③ 研究期間：研究許可日～2028 年 3 月 31 日（西暦）まで

④ 研究の方法

対象患者さんの陽子線治療開始時からの生存期間、無病生存期間、局所制御期間、有害事象を評価します。以上から、治療の安全性と有効性を評価します。

⑤ 情報の項目（具体的に記載すること）

検査データ、画像データ、診療記録等

⑥ 情報の第三者への提供について（該当する場合は記載）

情報の授受は、セキュリティ対策を施した上で行います。

具体的には、記録媒体により実施します。

対応表は、提供元機関の研究責任者が保管・管理します。

⑦ 情報の管理について責任を有する者

代表責任者：神戸陽子線センター 放射線治療科 福光延吉

⑧ 研究機関名および研究責任者名

筑波大学附属病院 放射線腫瘍科 水本斉志

総合南東北病院 放射線治療科 鈴木志恒

福井県立病院 陽子線癌治療センター 松本紗衣

国立がん研究センター東病院 放射線治療科 廣嶋悠一

静岡県立静岡がんセンター 放射線・陽子線治療センター 村山重行

兵庫県立粒子線医療センター 放射線科 沖本智昭

⑨ 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

⑩ 問い合わせ連絡先

国立がん研究センター東病院 放射線治療科 廣嶋悠一

04-7133-1111

なお、この研究が適切に行われているかどうかを確認するためや研究の科学的意義を検討するために、国内外の第三者の立場の者が研究対象者の方のカルテやその他の診療記録、研究データなどを拝見することがあります。このような場合でも、これらの関係者には守秘義務があり、個人情報を守られます。